

国土交通省総合政策局
情報政策課交通経済統計調査室
平成26年5月8日(木)公表

トラック輸送情報

平成26年2月分

平成26年3月分は平成26年6月上旬公表予定

*問い合わせ先

国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室

電話 03-5253-8111 F A X 03-5253-1567

担当 浜田、桑原 内線 28-723

この調査報告の概要は、国土交通省ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

トラック輸送情報（平成26年2月分）

平成26年5月8日

総合政策局 情報政策課 交通経済統計調査室

担当：浜田、桑原 内線28723

直通：03-5253-8346

<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

1. 特別積合せ貨物

(1) 本月の概況

調査対象24社の本月の輸送量は、5,142,128トンで、前月と比べ総輸送量が約224千トン増加したため、前月比104.6%（季節調整済み101.2%）となり、前年同月との比較では、約396千トン増加したため、前年同月比108.3%の実績であった。

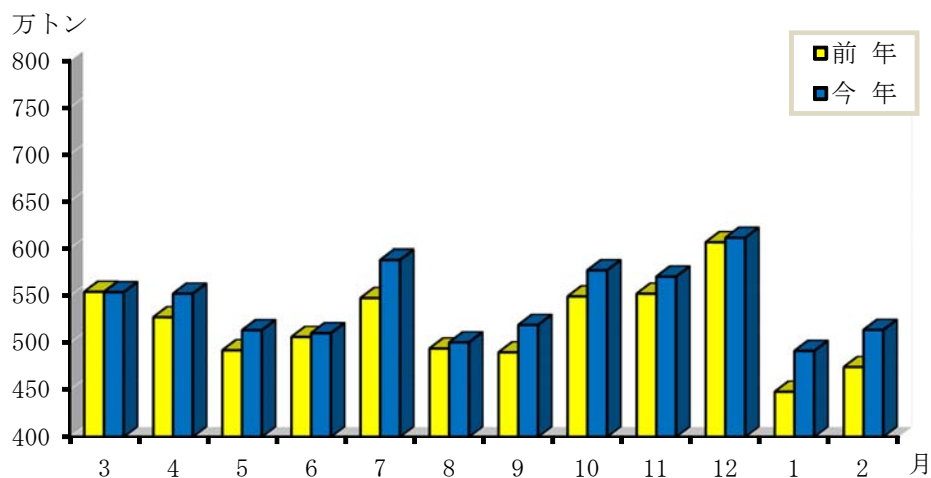
なお、平均稼働日数は22.5日で、前月と比べ0.8日増加し、前年同月との比較では、0.0日であった。稼働1日当たりの輸送量は、228,539トンで、前月と比べ約2千トン増加したため、前月比100.8%となり、前年同月との比較では、約18千トン増加したため、前年同月比108.3%の実績であった。

（図1-1、図1-2参照）

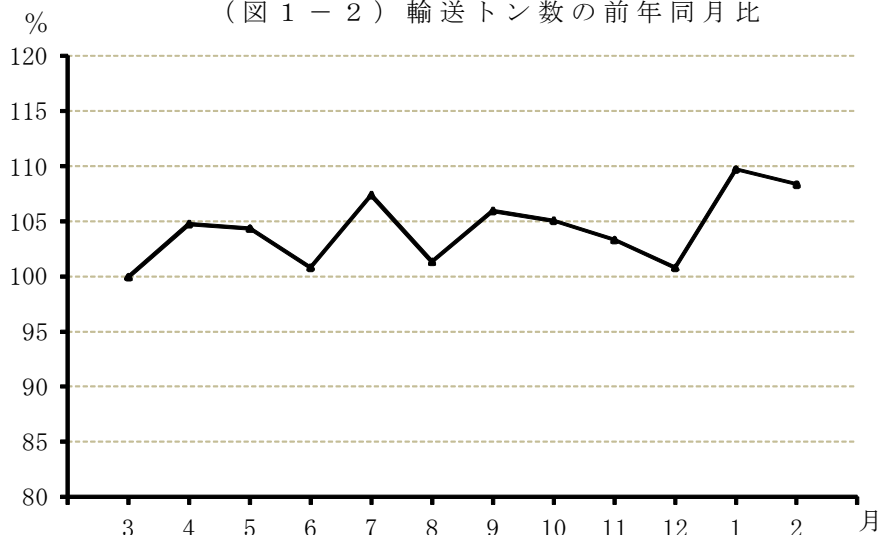
注）平成25年2月から貨物輸送の調査対象については、24社となった。

前月比及び前年同月比は、24社ベースで比較している（図1-1及び図1-2は24社ベースで作成）。

（図1-1）輸送トン数の推移



（図1-2）輸送トン数の前年同月比

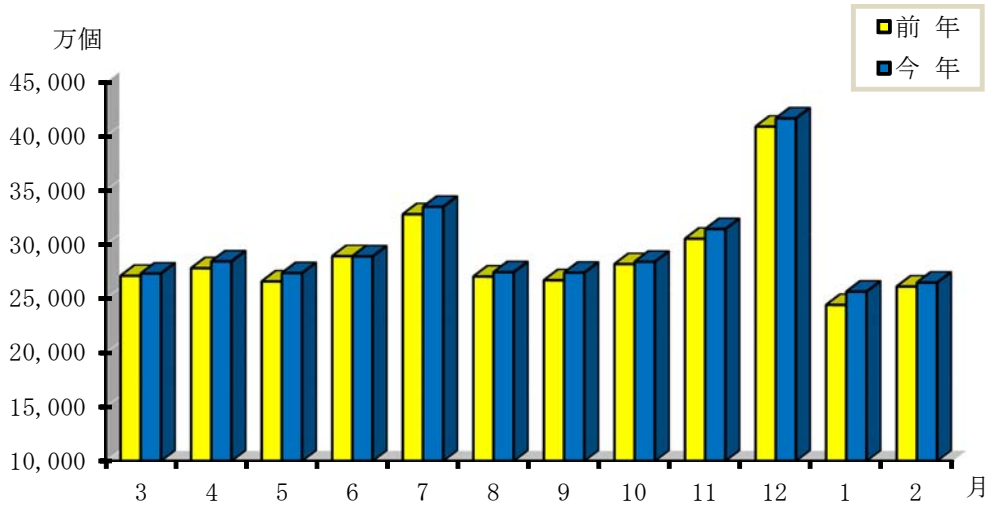


(2) 宅配便の概況

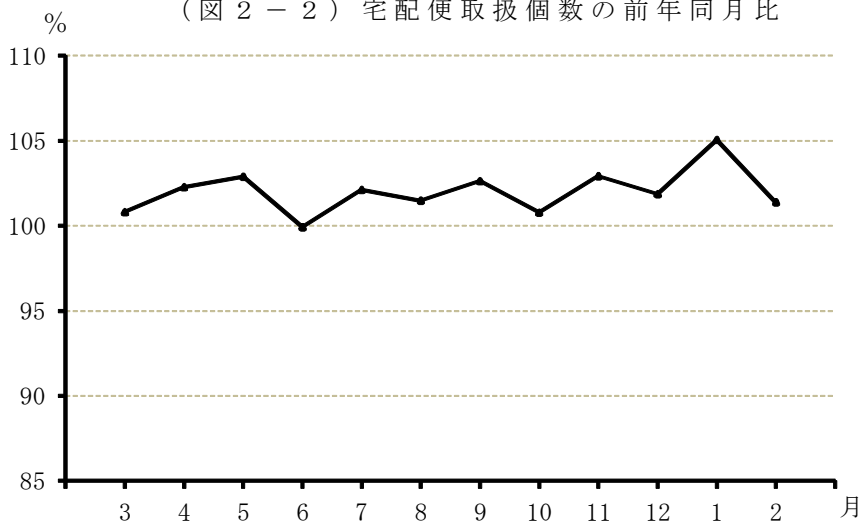
調査対象 14 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、約 264,951 千個で、前月と比べ 約 8,292 千個増加したため、前月比 103.2%(季節調整済み 98.5%) となり、前年同月との比較では、約 3,611 千個増加したため、前年同月比 101.4% の実績であった。

(図 2-1、図 2-2 参照)

(図 2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

調査対象 25 社(24 社及び品目別・地域別輸送状況回答 1 社) は、前月と比べると、「金属製品」、「化学工業品」、「日用品」、「その他」の輸送量が増加したと回答する事業者が多かった。「その他」の主な増加要因は、デパート、スーパーからの貨物増であった。

前年同月と比べると、「金属製品」、「日用品」の輸送量が増加したと回答する事業者が多かった。その増加要因としては、工場・生産地からの貨物増が共通して見られ、「日用品」の主な増加地域は「関東」であった。

(表1) 品目別増減状況 (回答事業者数 25社)

品目	増減事業者数					主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※ 増減要因
	著 増	増	変 ら ず	減	著 減			
前 月 に 比 べ て	農水産品		4	10	3	1		4
	金属製品	2	2	15	2			
	機 械	1	1	14	4			
	化学工業品	2	4	13	3			
	繊維工業品	1	1	16	4			
	食料工業品		3	15	2			
	日 用 品	1	6	12	3	その他の日用品		
	そ の 他	2	3	13	4	その他(百貨店配送品)		2
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品	1		13	3	1		
	金属製品	2	4	13	2			4
	機 械		3	13	4			
	化学工業品		5	14	3		神奈川	
	繊維工業品		1	19	2			
	食料工業品		3	14	3			
	日 用 品		8	12	2	その他の日用品	関東	4, 7
	そ の 他		3	13	4	2		

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都府県(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都府県を含む場合はそれらを除く府県、九州は沖縄を含む)]単位である。
なお、地方運輸局に6大都府県を含む場合は「～地方」と表記した。

※ 増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者(本月の回答事業者758社/調査対象事業者数1,048社)の輸送量は、前月比 100.5%、前年同月比 104.7%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北 信	陸 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前年同月比	104.7 %	105.7 %	103.4 %	99.6 %	107.2 %	103.9 %	100.3 %	110.1 %	110.0 %	99.7 %	104.7 %	
前 月 比	100.5 %	97.9 %	98.3 %	97.6 %	101.0 %	100.7 %	103.9 %	106.9 %	103.8 %	100.4 %	103.6 %	

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況 (各運輸局より回答のあったもの)

北海道	<p>本月の輸送については、対前月比97.9%、対前年同月比105.7%であった。品目別では、季節的需要増により「廃棄物」、「機械」が、建設関連の需要増により「工業用非金属鉱物」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、建設関連の需要減により「砂利・砂・石材」が、季節的需要減により「木材」、「その他の石油製品」が、天候の影響により「セメント」、「その他の石油製品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月はほぼ横ばい、以降は減少傾向が予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送については、対前月比98.3%、対前年同月比103.4%であった。品目別では、天候の影響により「その他の石油製品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、天候の影響により「砂利・砂・石材」が、工場・生産地からの貨物減により「工業用非金属鉱物」、「金属製品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも増加傾向が予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送については、対前月比97.6%、対前年同月比99.6%であった。品目別では、「日用品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、天候の影響により「揮発油」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月はほぼ横ばい、以降は減少傾向が予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送については、対前月比101.0%、対前年同月比107.2%であった。品目別では、季節的需要増により「機械」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減により「野菜・果物」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも増加傾向が予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送については、対前月比100.7%、対前年同月比103.9%であった。品目別では、「機械」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月は増加傾向、以降はほぼ横ばいが予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送については、対前月比103.9%、対前年同月比100.3%であった。品目別では、消費税率引き上げ前の需要の増加、季節的需要の増加により「金属製品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも増加傾向が予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送については、対前月比106.9%、対前年同月比110.1%であった。品目別では、建設関連の需要増により「砂利・砂・石材」、「機械」が、天候の影響により「セメント」の輸送量が増加したと回答した事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月は増加傾向、以降は減少傾向が予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送については、対前月比103.8%、対前年同月比110.0%であった。品目別では、季節的需要増により「野菜・果物」、「紙・パルプ」が、建設関連の需要増により「砂利・砂・石材」、「鉄鋼」、「機械」が、工場・生産地からの貨物増により「工業用非金属鉱物」、「機械」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも増加傾向が予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送については、対前月比100.4%、対前年同月比99.7%であった。品目別では、建設関連の需要増により「砂利・砂・石材」が、景気の影響による貨物増により「化学肥料」が、また「機械」、「金属」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減により「野菜・果物」が、商社・問屋からの貨物減により「セメント」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月は増加傾向、以降は減少傾向が予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送については、対前月比103.6%、対前年同月比104.7%であった。品目別では、商社・問屋からの貨物増により「木材」、「鉄鋼」、「日用品」、「金属くず」、「その他の農産品」が、季節的需要増により「日用品」、「取り合せ品」が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減により「機械」、「食料工業品」が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも増加傾向が予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況（対前月比）

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

運輸局		北 海 道	東 北	関 東	北 陸 信 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄	全 国 計
1. 穀物	増	1	1								1	3
	減										1	1
2. 野菜・果物	増		1			1		1	5	1		9
	減		1		2			1	1	3		8
3. その他の農産品	増	1							1	1	1	4
	減	2	1						1			4
4. 畜産品	増							1				1
	減											
5. 水産品	増		2		1				1			4
	減	1	1							1		3
6. 木材	増		1					1	1	2	1	6
	減	2	1		1				1	1		6
7. 薪炭	増											
	減											
8. 石炭	増	1										1
	減							1				1
9. 金属鉱物	増				1							1
	減		1									1
10. 砂利・砂・石材	増	3			1	1		4	3	3		15
	減	5	3					1	1	1		11
11. 工業用非金属鉱物	増	2						1	2			5
	減		2					1				3
12. 鉄鋼	増	1			1			1	4	1	2	10
	減		1	1				1		1		4
13. 非鉄金属	増				1							1
	減						1					1
14. 金属製品	増		1		1		3	1	2	4	1	13
	減		2					1				3
15. 機械	増	2	1		3	2	1	3	6	6		24
	減		1								2	3
16. セメント	増	1	1			1		3	1	1		8
	減	4	1		1			1		3		10
17. その他の窯業品	増				1			2	1	2		6
	減						1	1				2

運輸局		北 海 道	東 北	関 東	北 陸 信 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄	全 国 計
18.揮 発 油	増							1				1
	減			1	1							2
19.その他の石油製品	増	1	2		1			1	2			7
	減	6			1			1	1			9
20.コークス・ その他の石炭製品	増				1							1
	減											
21.化 学 薬 品	増		1					1				2
	減	1	1		1					1		4
22.化 学 肥 料	増	2	1		1			3		2		9
	減				1							1
23.その他の化学工業品	増				1				1			2
	減							1		1		2
24.紙 ・ パ ル プ	増		1	1		1	2	1	4	2		12
	減	1									1	2
25.織 維 工 業 品	増		1					1				2
	減								1			1
26.食 料 工 業 品	増	1	2				2	2	1	3		11
	減	1	2				2	1		2	1	9
27.日 用 品	増		1	2	1		2	4		2	2	14
	減	1	1				2	3		1		8
28.その他の製造工業品	増				1	1		1	1	3		7
	減		1		1					2		4
29.金 属 く ず	増							1			1	2
	減											
30.その他のくずもの	増											
	減								1			1
31.動植物性飼・肥料	増	2							1			3
	減	3	2	1								6
32.廃 棄 物	増	7	2					1	1	1		12
	減	3	2		1			1		3		10
33.輸 送 用 容 器	増											
	減											
34.取 り 合 せ 品	増	1						2			1	4
	減		2									2
35.そ の 他	増	4	2	2	2		6	2	2	1		21
	減	4		1	3	1		2		4		15